

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **はるや**

日付 平成16年10月5日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
ホーム内の壁には大きな絵画がいくつもかけられている。落ち着いた色調で描かれた絵は入居者にも落ち着きを与えている。
部屋の形はすべて異なり、予算に応じて居室を選べるユニークなところがある。

既存の建物を改修してのグループホームである。
構造的に不便な面もあろうが、職員の知恵と温かい気持ちで十分に補われている。
毎月講師を招いて研修を受けたり、近くのグループホームとの勉強会を行うなど、職員の研修、レベルアップにも努められている。
ホームの周りには、散歩に適した安全な歩道があり、職員と一緒に海を見ながら、毎日の散歩に出掛けている。
日中、ほとんどの入居者は、ゆったりとした居間で過ごしている。職員の明るい態度と優しい接し方は、とても居心地よい空間を作り出している。

また、系列の施設から理学療養士、作業療法士も訪問してくれ、専門的なりハビリによる機能低下防止訓練が受けられるようになっている。

改善の余地があると思われる点
特になし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<p>記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「人として、幸せに、安心して、生きる日々を大切に」をモットーに、入居者が居心地よい場所になるように。また、本人にあった介護が出来るようにと入居前、入居後に、本人・ご家族としっかり話をしている。 会話を重視し、しっかり納得してもらおう事に努めている。 研修、ミーティングをしっかりと行い、職員のレベルアップに勤めている。</p>			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<p>記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 壁には、落ち着いた色調の大きな絵画がかけてある。 玄関の入り口は、いつも開放されている。1階、2階の行き来も自由に出来る。 自由で、落ち着いた暮らしを送ってもらえるよう工夫している。 職員は、入居者の話をよく聴く姿勢を大事にしている。</p>			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<p>記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 職員は、入居者のことをよく把握している。入居者とよく会話をし、要望を引き出すよう努めている。無理強いせず、声かけをしっかりと行いながら、出来る事は入居者が行えるよう支援している。</p>			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<p>記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 代表者、管理者、介護スタッフ間でよく話し合いがなされている。教育への取組みも前向きで、他のグループホームの見学や、研修会に参加するなどレベルアップに努めている。 職員の思い、意見が管理者にきちんと伝わる環境作りも出来ている。</p>			